



# 歌と科学のシンボリズム



三重大学教育学部・教授  
後藤 太一郎  
Goto, Taichiro

**青少年のための科学の祭典とは？**  
子どもたちに実験や工作などを通じて、科学のおもしろさを体験していただくことを目的に平成4年に始められました。全国各地に広がり、三重大会は11回を教え、三重大学大会は7回目を迎えました。



三重大学教育学部・教授  
根津 知佳子  
Nezu, Chikako

## ◎科学のうた

♪ 世界のふしぎを さがしだそう  
魔法みたいな サイエンス  
ふしぎのしくみを見つけよう  
あなたもわたしも大発見～ ♪



三重大学教育学部・准教授  
森川 孝太郎  
Morikawa, Kotaro

ご来場の皆さん、科学の祭典開催中に何度か歌われたこの曲聞こえましたか？  
今回のために、教育学部音楽教育コースの大学生と大学院生、そして教員が一緒になって創りました。科学のふしぎやしくみを歌い、皆さんを科学の世界へご招待！  
皆さんは何か新しい発見に出会うことができましたか？

2009年 11月28日(土) - 29日(日) 科学の祭典

会場は熱気でいっぱい

スライム作りは大人気

見た見た！

風船が飛んだ

どんな音が聞こえる？

チョコチョコ

ロボコンに挑戦

1 一人田中学校のみなさんが担当のブースが第1位！(アンケートより)

2 スライムを作ろう

3 スーパーボールを作ろう

4 世界に1つしかないキーホルダーを作ろう

みんなの声

- ★ ロボット作ってみたい！
- ★ いろいろ遊んで楽しかった。
- ★ お兄さん、お姉さんがやさしかった。
- ★ サイエンスショーが楽しかった。
- ★ また来たいです。
- ★ 開催時間を長くしてほしい。
- ★ 科学って最高
- ...

## ◎科学の祭典

三重大学会場(2009年11月28日、29日開催)では、この日を楽しみにしていた子どもたちや保護者など、2日間で延べ2,500名が来場しました。33ブースの出展は、大学教員をはじめ、中学高校の教員、三重大生、高校生、中学生、ボランティアの方が好奇心溢れる子どもたちを科学のとりこにしました。

2007年から中部電力(株)のご支援を得て行っている、サイエンスショーも三重大学講堂大ホールで同時開催。科学の鉄人たちがステージ上で科学のふしぎを披露すると、「あっ!」「わあ〜」など歓声があがり、熱気に溢れた会場は11月末の初冬の寒さを忘れるくらいの別世界になりました。

子どもたちの楽しそうな顔、実験に夢中な姿は、普段の授業の中ではなかなか見られないことかも知れません。教える側も改めて科学の楽しさに触れることができたのではないのでしょうか。

## ◎科学と歌のハーモニー

音楽と科学の面白さを共有させてみたいという考えから創った「科学のうた」は、科学の祭典を鮮やかに彩ってくれました。サイエンスショーには、この歌に魅かれて、昨年よりもたくさん子どもたちが集まり、講堂大ホールが不思議の世界へ様変わり。それぞれのブースにも届くメロディは、楽しく、元気に会場の一体感を創り出し、2日間の祭典を盛り上げました。一度聞いたら忘れられないこの歌を、子どもたちが口ずさみながら、実験や工作などをさらに楽しんでもらえることを願っています。また今年も皆様のご来場をお待ちしています。

2010年第8回  
科学の祭典  
三重大学大会  
11月27日(土)  
11月28日(日)

